

トビタテ！留学JAPAN タンザニアで教育ボランティア

1. 活動時期

:2023. 7/21～8/20

5年9組 直井 ひかり

2. 参加のきっかけ

小さい頃からアフリカに興味があったからです。タンザニアは教育水準の低い国の一つとされています。そんなタンザニアの教育現場には一体なにが必要なのかを探求し、高校生の自分にできる教育支援活動をするためにトビタテ!留学JAPANに応募しました。



3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

私は留学中何度も悔しい思いをしました。自分の英語力が足りないために他の国の留学生に相手にされなかったり、小学校に初めて行った日には学校の先生に急に足し算の授業をしてと言われ、どうしていいのかわからず何もできなかったことがありました。しかしそんな悔しい思いをするたびに、逆に積極的に外国人の留学生に話しかけに行ったり、夜寝る前に必死で明日の授業のための英語の台本を考えるなど、海外で生活していくための本当の意味での強さを身につけることができました。最初の2週間は精神的に辛かったのですが、最後の1週間では今までの自分では想像できないほどの積極性を身につけ、初対面の留学生にもどんどん話しかけ会話ができるようになりました。

②活動中の面白かったポイント

私の留学は一ヶ月間と短いものでしたが毎日が学びの連続で今までの人生の中で一番濃い一ヶ月間でした。毎日が刺激的でワクワクするようなことがある一方で、悔しい思いをしたり惨めな思いをすることもたくさんありました。しかし、このような経験も含め、自分の視野も広がり価値観も大きく変えることができ、本当にいい経験だったと思います。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

:トビタテの応募資料作成は大変ですが、その分だけ自分の将来について考える良いきっかけになります。どんどんチャレンジしましょう！世界は想像以上です！